

大切なお知らせです

体温 37℃以上の場合ご利用をご遠慮願っております。

●以前より、ご利用当日のご家庭での検温の実施をお願いしておりますが、合わせてお迎え時に職員による検温を実施させていただきます。検温の結果が 37.0℃以上の場合当日のご利用はお控えいただいております。

●来所後、施設内でも複数回検温させていただきますが、その際に 37.0℃以上の熱を確認した場合、申し訳ございませんが帰宅していただく対応をとらせていただきますのでご了承ください。

コロナウィルス危機的感染拡大に際し、上記の項目に関し、ご理解ご協力の程よろしくをお願いいたします。

たなばたさま

願いがかないますように

今年も皆様で、七夕かざりを作りました。東部デイ中庭で大きく成長した笹に、ご利用者が願いを込めて書かれた短冊を飾っていただきました。「家内安全」「病気が治りますように」「孫や曾孫が元気で大きくなりますように」「世界平和」などなど、皆様が短冊に書かれる願い事は色々ですが、「コロナ退散」などと、コロナウィルス収束祈願を短冊に書かれたご利用者も数名おられました。

ご利用者皆様の願いが叶い、幸せに健康で過ごされますよう、職員一同願っております。いつまでもお元気で東部デイサービスセンターにお越しになってくださいね。



2階 地域密着型より

〔地域交流〕しおりを寄贈してきました。

昨年より地域交流として続けている「しおり作り」ですが、先日 7月 15日に城陽市東部コミュニティーセンターの図書館に、オリジナルのしおりを置かせていただきました。

7月16日に東部コミュニティーセンターのお祭りがあるということでした。

今回は 40枚ほどを置かせていただいたところ・・・一瞬にしてなくなったそうです。

以前にも手に取っていただいた方が『前にも買ったけど、もう一枚欲しい』と言って持って帰ってくださったそうです。嬉しいですね。

不定期ですが今後も続けていければと思っています。手に取っていただいた皆様、ありがとうございました。



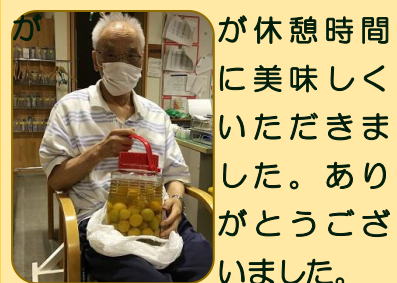
東部だより 6月号でお知らせいたしました 7月22日(金)に開催を予定いたしておりました、2階地域密着型の「家族懇談会」は、第7波コロナウィルス感染拡大による感染者の急激な増加の状態を鑑み、止むを得ず延期させていただきました。代替りの開催日程は今のところ未定ですが、ご家族様には決定次第ご連絡させていただきます。ご参加を予定していただいておりますご家族様にはご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解賜りますようよろしくお願い致します。

収束に向かうと思われていたコロナウィルス感染ですが、ここにきて連日全国で過去最多の感染者数を更新しているような状況です。その上、今回の第7波の感染拡大では行動制限無し、濃厚接触者の待機期間の短縮と、今までとは違った政府の対策が取られ、マスク着用、消毒の徹底、ワクチン接種くらいしか予防策がない状況で、益々の爆発的感染拡大が予想されます。ご利用者の皆様には今まで以上に基本的な感染予防対策を徹底していただき、少しでも感染リスクを減らして、日々お元気で過ごしてくださいね。また、東部デイをご利用いただく際も、マスク着用、消毒、検温のさらなる徹底にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご利用者から梅の実をいただきました。

ご利用者からご自宅の木から収穫された梅の実をたくさんいただきましたので、梅ジュースを作り職員

が休憩時間に美味しくいただきました。ありがとうございました。



脳トレパズルに挑戦 III

東部デイでは字合わせ、柄合わせ、図形の組み合わせ、手指の細かな動作をするものなど、幅広い分野のパズルを取り入れています。

パズルは市販の製品や、機能訓練指導員が手作りしたものもあります。

脳トレパズルは間違っても、時間がかかっても、完成することが出来なくても、まったく大丈夫です。

皆さん、東部デイで楽しみながら脳を活性化していきましょう!!



8月散髪予定

3日、7日、8日、9日、17日、18日、19日、25日、27日、30日、31日

※ 散髪を希望される方は職員までお知らせください。

令和3年度

城陽市立東部デイサービスセンター 事業報告 (抜粋)

1. 事業種別事業報告

【通所介護・通所介護相当サービス】

1. 健全（法令遵守）で安定した事業活動の展開

コロナ禍の為、外出行事を制限し、利用者からのご意見が多かった壁画飾りを実施し、季節感を感じていただけた。また、今年度より創設された LIFE（科学的介護推進情報システム）に全件数取り組み、科学的介護推進体制加算の算定が可能となった。

【（介護予防）認知症対応型通所介護】

(1) 利用状況

利用状況は、表2のとおりである。利用者総数3,775人、1日当りの平均利用者数は、10.4人であった。この内、介護予防認知症対応型サービス利用者は、年間103人（総利用者数の3.11%）となった。目標としていた登録人数は前年度と比較すると増加傾向であったが、新型コロナウイルスの影響により利用の自粛、また、入院や認知症状の進行による家族の介護負担軽減のため、入所や他施設へ移行となるケースも多く、年間の平均稼働率は86.4%で目標稼働率91.0%を達成することができなかった。

尚、利用者の平均要介護度は、2.62であり、前年度（2.79）と比べやや軽度化した。また、平均介護度別の割合は、要介護5が9.1%、要介護4が10.5%、要介護3が32.1%、要介護2が19.3%、要介護1が25.9%、要支援が3.1%となっている。

(2) ケアの質と利用者満足度の向上

個別機能訓練計画に基づいた個別プログラムを実施。定期的に全利用者を対象にカンファレンスを行い、利用者の状態やケアの手法の共有を図るとともに個別プログラムの立案をした。今年度も家族懇談会が開催できず、独自の広報誌「かけはし」を発行し、家族との意見交換や情報の共有が行い、家族の満足度向上に繋がった。

2. 主な行事

主な内容は、表3のとおりである。新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から施設行事は中止とし、季節を感じる四季折々の壁画飾りを行い、巧緻動作向上や認知症やADL低下の予防に役立つような行事に努めた。行事の様子は毎月発行の機関紙「東部だより」掲載し内容を家族に発信した。

表3 主な行事

実施月	実施日	行事	区分
4月	3/8~4/10	しだれ桜作成(季節の作品作り)	認知症対応型
6月	10、11日	おやつ行事(抹茶ムース)	通所介護・認知症対応型
	29日	久世小学校 図書室しおり寄贈	認知症対応型
7月	6日、7日	七夕週間	通所介護・認知症対応型
	14日~20日	ひまわり畑作成(季節の作品作り)	通所介護
8月	25日	映画鑑賞会(花火)	通所介護
9月	25日	紅葉作成(季節の作品作り)	認知症対応型
10月	12日~15日	運動会週間	通所介護
	26日	東部コミュニティセンター 図書室しおり寄贈	認知症対応型
12月	18日~20日	クリスマス週間	通所介護
1月	3日~7日	お正月週間	通所介護
3月	3日~7日	ひな祭の週間	通所介護

【防災・感染症対策】

(1) 防災対策

防災訓練は、表8のとおり。新型コロナ予防の観点から最小限の人数で行った。火災を想定し、通報、避難誘導、消火器を使用した実践を交え、総合訓練を実施した。防災教育として自己責任の自覚と的確な行動力を身につける事を目的としてオリジナル動画を作成し、防災意識の向上と周知が図れた。また、消火訓練では地域住民の方に参加していただくことができた。

表8 防災訓練の実施状況

実施日	内容		立会い及び指導
11月12日	総合訓練	避難訓練 通報訓練 消火訓練	城陽市消防本部
3/20~3/30	防災教育	動画研修 火災想定・通報訓練	-

(2) 感染症対策

新型コロナ対策についてはグループの方針に従い、具体的な感染対策を示した「職員の出勤及び利用・入所の基準」を作成した。

新型コロナの感染拡大防止策として、毎月発行の「東部だより」にて体調管理と感染対策について、利用者、家族への情報提供を行った。また、ワクチン接種の有無についても情報収集に努めた。

職員全員に1日2回の検温を徹底し、各職員の体調管理の意識づけと異常の早期発見に努め、感染拡大予防に心掛けた。

浴槽の水質維持のため、年2回循環浴槽の薬品清掃を実施し、レジオネラ菌対策を実施した。

令和4年度

城陽市立東部デイサービスセンター 事業計画 (抜粋)

1. 基本理念

当施設が開設以来取り組んで来た「人権と尊厳の尊重」「個々の能力に応じた生活支援サービスの提供」及び「利用者、家族、地域、関係機関との信頼関係を構築し、在宅福祉サービスの拠点となる施設運営」を行い、「思いやりの心」で“手のぬくもりのある”介護の提供を目指す。

益々地域の信頼を得るとともに、安心安全に利用できる施設を目指す。

利用者が、いつまでも住み慣れた地域で在宅生活が継続できるよう自立支援を行うため、利用者の状態に応じた心身活動の向上を図るとともに、介護者や家族の負担軽減及び利用者を支える地域社会との連携を図り、地域に根ざした施設として、安心して利用してもらえる施設作りを目指す。

3. 事業種別事業計画

【一般型通所介護】

□ 基本方針

多様なニーズが増加する中、利用者が住み慣れた地域でいつまでも生きがいをもち生活が継続できるように、利用者本位のサービス提供や家族介護支援（レスパイトケア）の充実を図る。

また、在宅での生活に視点を置き、利用者の状態に応じた計画を作成し、個別機能訓練及びレクリエーションの実施に努める。

□ 重点項目

(1) 健全（法令遵守）で安定した事業活動の展開

就業前後にアルコール検知器にて測定を実施し、安心安全な運転業務に努める。

利用者の意見をもとに多様な行事を実施し、楽しんでいただけるサービスの提供に努める。

また、サービスの質の向上を目指し、新たな加算が算定できるよう取り組む。

(2) 人財の育成及び定着

専門性を発揮できる人財を育てると共に次世代のリーダーの育成を行う。

有給休暇取得率60%以上や、全ての職種が協力することで超過勤務の削減超過勤務平均5時間未満など働きやすい職場環境を整える。

(3) 連携重視

地域ケア会議や行政の主催の連絡会等に参加し情報収集を行うと共に、各サービス機関との連携を図り、在宅での生活を継続出来るよう支援する。また、地域住民と連携・協力し地域との交流を深める。

(4) ケアの質と利用者満足度の向上

密にならないよう小集団ごとにコロナ禍で実施できるレクリエーションを提供する。

個別機能訓練の充実を図り、現存能力の維持・向上を図る。

(5) 危機管理意識の徹底（再発防止対策、予防対策の充実）

車両事故0を目指すために自身の運転に対して振り返りを毎日行い、職員間で情報共有を行う。

送迎ルートの見直しを行い、ゆとりを持って送迎に当たれるよう徹底する。

感染、防災対策を強化し、マニュアルの見直しや訓練を定期的実施し、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築する。

【認知症対応型通所介護】

□ 基本方針

人としての尊厳を守り、利用者個々にとって居心地のよい環境を提供する。認知症の進行が緩やかになることを目指すとともに家族介護支援（レスパイトケア）の充実を図る。

□ 重点項目（一般型通所介護の重点項目に次の項目を加える）

(1) 認知症ケアの質の向上を図る

認知症の専門研修の受講に努め、より適切に対応できる職員の育成を図る。

役割を持って取り組めるアクティビティを充実させ、周辺症状の緩和を図り、生活動作の自立度を高める。

(2) 職員と家族の信頼関係を構築し、日々の様子の情報共有に努め、様々な視点で利用者のケアに繋げる。